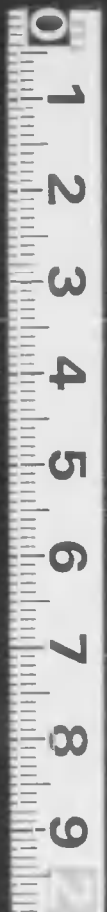
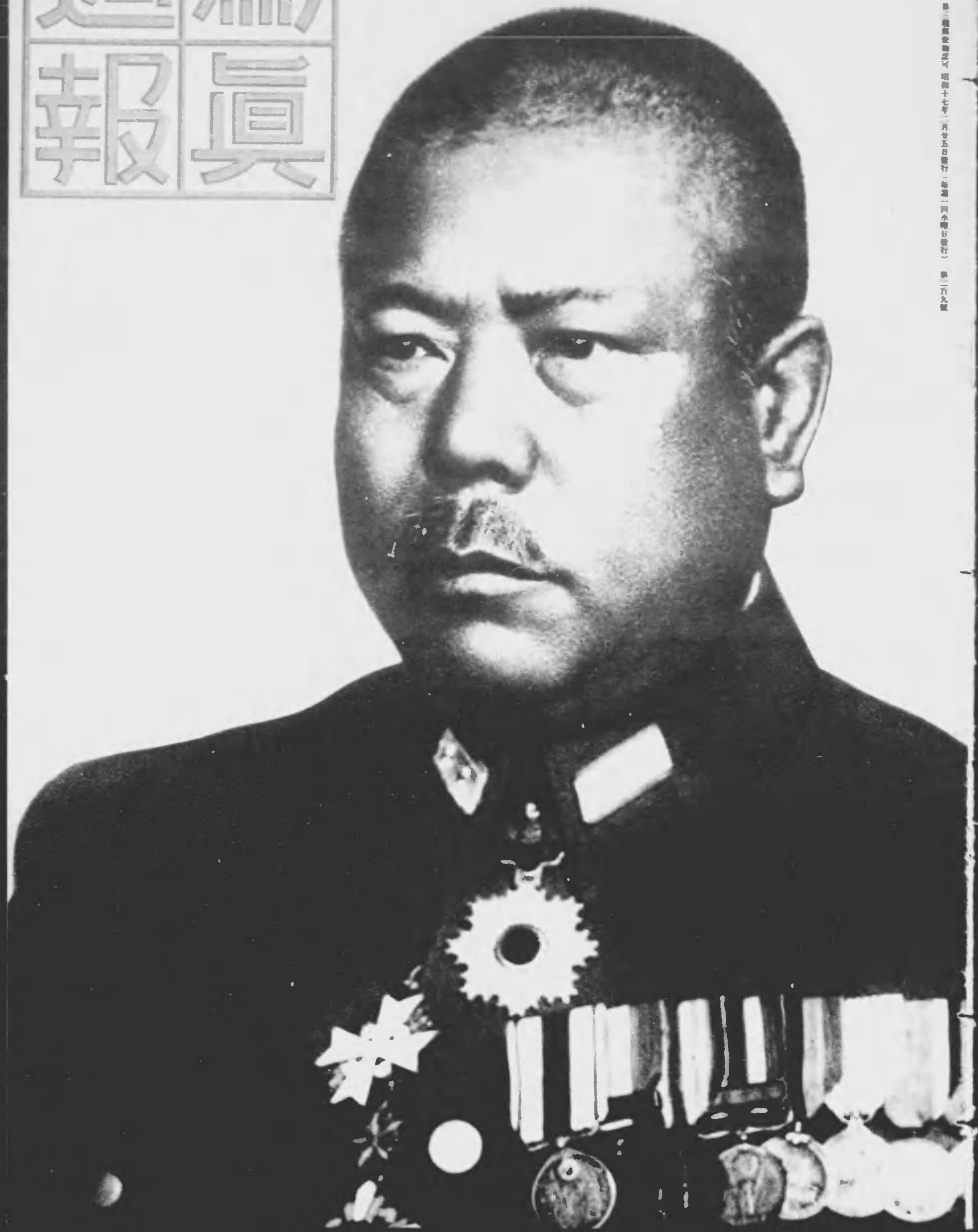


週寫
報眞

情報局編輯
二月廿五日・第九百二十七號

昭和十一年一月十四日 第三號 編輯局 東京市丸の内區千代田 電話 二二七二



シンガポールは英國が
 東亞の地圖を色染めてゐた
 侵略の據點だつた
 同様の汚點が
 東亞人の心の中にも
 浸み込まされてゐたら
 陥落を機會に
 眼に見えないシンガポールをも
 撃破しておかなくてはならない



☆ 南方 最高指揮官 ☆
 陸軍 寺内壽一大將 ☆

上 當夏の現地に三軍を叱咤する南方方面帝國陸軍
 最高指揮官寺内壽一大將
 下部下將校に訓辭を與へる南方方面帝國陸軍總參謀長塚田攻陸軍中將



昭和十七年二月十五日午後七時五十分、シンガポールの敵軍は遂にわが軍門に降り、全マレー制覇の偉業は世界驚嘆の裡に完成した。北部マレーに兵を進めてより七十日、ジョホール水道渡過以來實に七日といふ世界戦史に不滅の戦果である。驕れば畏くも米英に對する宣戰の大詔を拜し、猛然たる氣魄を以て、南方に軍を起して以來、數多の堅固な敵據點を次々に覆滅し、敵兵力に致命的痛撃を與へて、今敵の最大策源地であつたシンガポールに翻轉として日章旗のひるがるを見る。あゝ何たる感激であらう。神國日本の炳乎たる姿は、燦として東亞一帯に映え、久しく

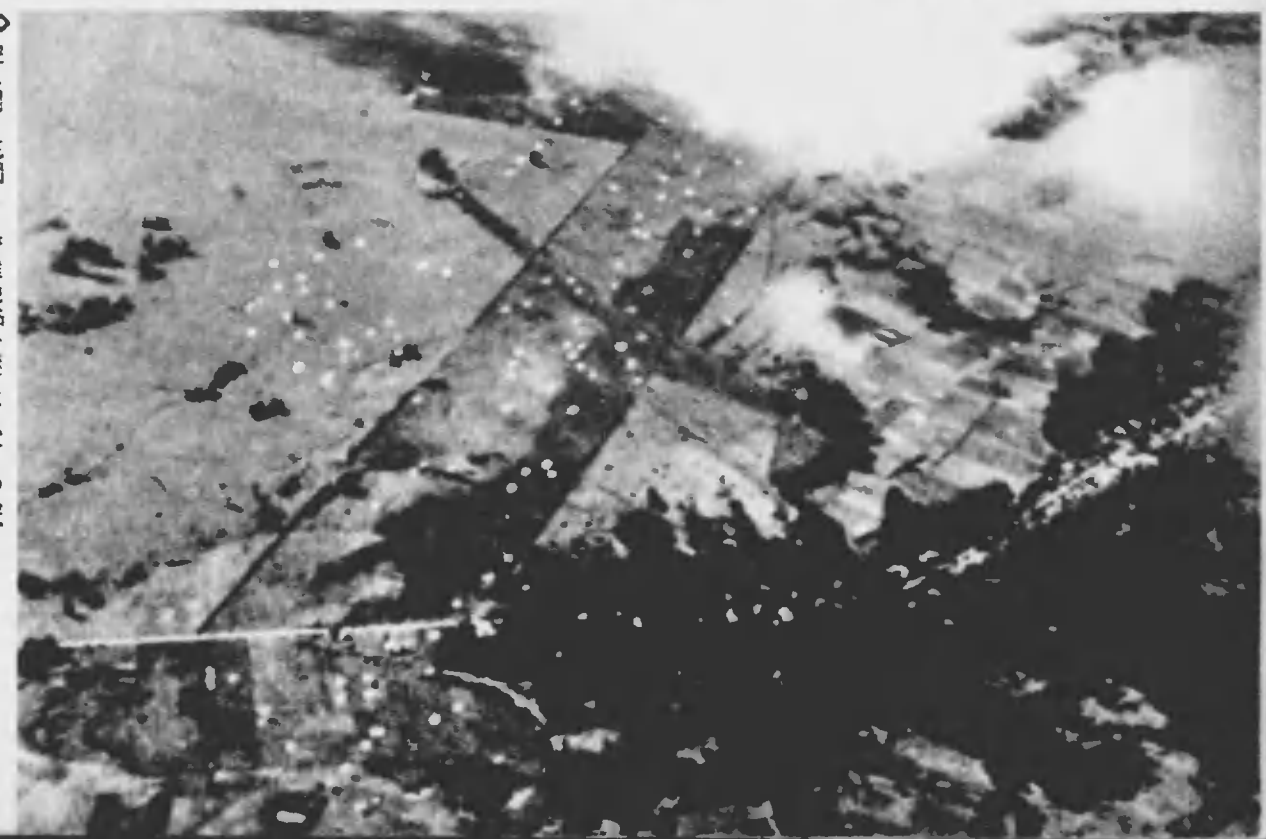
暴慢の限りを盡したイギリスの末路に叩鐘は鳴り渡りつゝある。この秋に當り、われは何よりも先づ、御禮威の下、家を忘れ身忘れて勇戦奮闘した皇軍將兵に、深い感謝の念を捧げねばならぬ。と同時に、シンガポールの陥落は大東亞戰爭遂行に一階梯を築き上げたに過ぎないことを十分自覺し、驕る心を抑へ、氣を勵まして、いよゝ猛然と戦ひを續けよう。正に戦ひはこれからであり、衰滅の兆ある米英に、更に容赦なき痛撃を各方面に加へて、一日も早く徹底的にアングロサクソンの邪惡を世界から葬ること、戦半ばにして散華した幾多英靈にこたへるべきわれら一億の大任でなければならぬ。



〇真紅無比！輸送機を離れた純白の落下傘が次々と大輪の白雲のやうに空にとひ出す
〇運に無血セシヘスの土を足下に踏みしめた！直ちに攻撃に移らんとする海軍落下傘部隊



〇一人また一人、必死に防戦する敵の猛射の中に着陸する海軍落下傘兵
撮影 本間海軍報道班員



〇空に開く花園！着陸地点を照して堂々の降下
〇陸軍輸送機より勇躍降下！落下傘が正に開かんとする重砲（陸軍省）



帝國陸軍 落下傘部隊の初陣



大東亞戦争開始以来、皇軍の赫々たる大戦果は、まさに全世界の驚異的となつてゐるが、世紀の勝利シンガポール陥つ！の報に先立つて、蘭印方面におけるわが陸海軍落下傘部隊初の大活躍が明らかになされ、反樞軸国家群を恐怖のどん底に叩き込んだ
即ち、さる一月十一日、セレベス島メナドの攻略に参加した海軍落下傘部隊は、初陣にもかゝらず堂々の戦果を収め、また二月十四日には陸軍落下傘部隊が蘭印最大の油田地帯であるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功し、直ちに所在の敵を撃破して飛行場その他を占領確保するといふ大戦果をあげたのである



〇落下傘をかなり捨てるや、直ちに武器を執つて敵敵をき
〇追する陸軍落下傘兵

ジョホール水道强行渡過



宮本三郎繪

線戦マルビ 西へ西へラングーンへ



モールメン占領と同時に息もつかせずサルウィン河対岸を攻撃



森林の峻険に砲を進めて敵追撃はまずく念



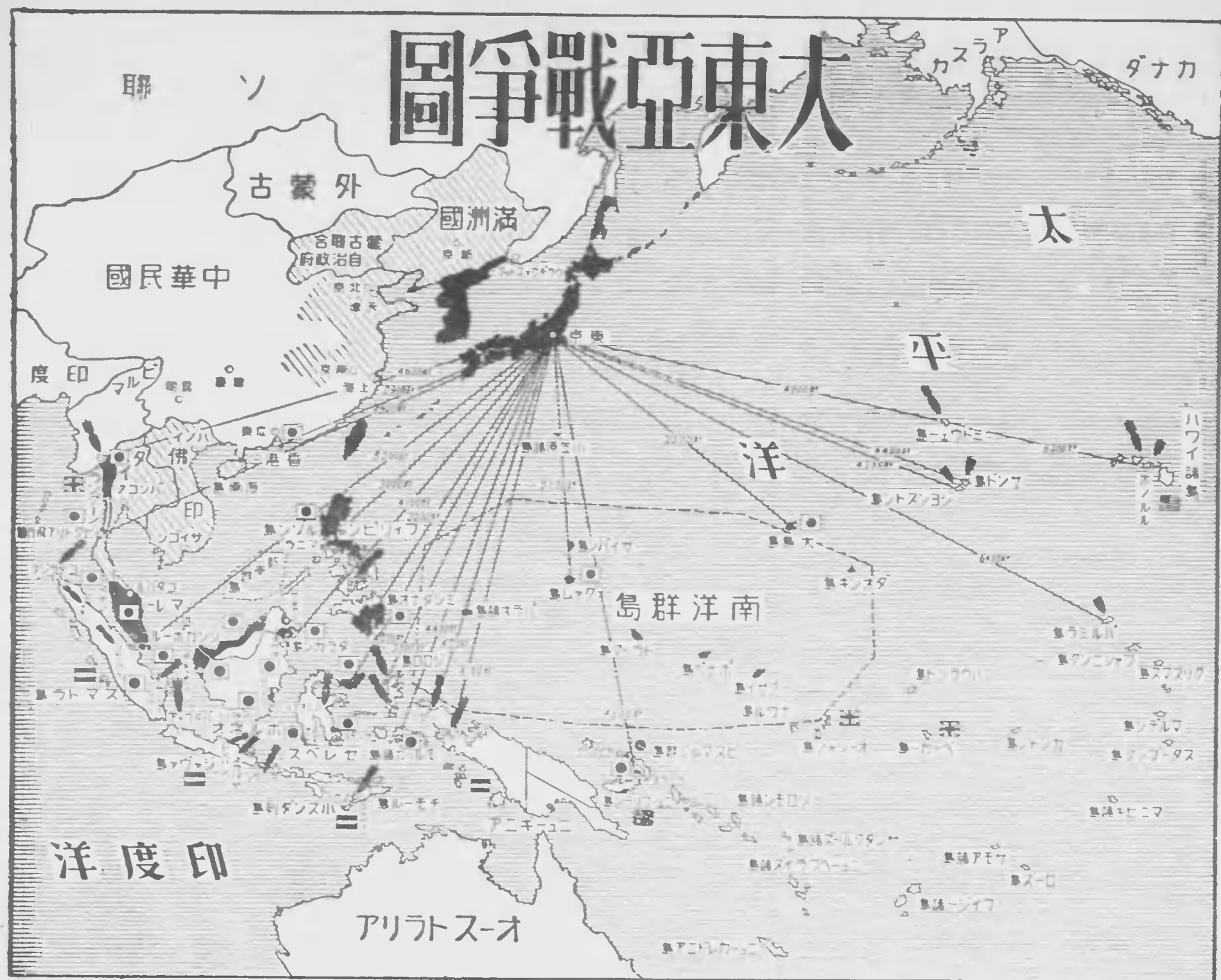
わが進軍を親愛の瞳を輝かせて迎へるビルマ人



モールメンは間近だ。猛撃の前に暫し山野跋涉の疲れを休める



泰ビルマ國境の山岳地帯を突破してビルマに進攻したわが精銳部隊は、連日の悪天候と険難な山地を克服、しかも大規模に破壊された難波な道路を踏破して隨所に敵を撃破し、一月三十一日遂にモールメンを完全に占領した
モールメンはビルマの首都ラングーンの外廓陣地として敵が戦略上極モールメン市街に入るわが勇士



大東亞戰爭圖

大東亞戰爭日誌

九日 ●海軍特別機隊はセレベス島南端の要衝マカッサルをめぐり、ニューブリテン島南側の要地カスマタを完全占領。海軍軍は蘭印の首都ジャバヤを大空襲し、シリタタ、カマラン、ランジ、ンブリタタの各飛行場を攻撃、敵機二十機を撃破し、諸軍施設を破壊。

十四日 ●未明、海軍はシンガポール島セレーター軍港に進入、正午これを占領。午前十一時二十七分、強力なる陸軍落下傘部隊は蘭印最大の油田地帯たるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功、敵を撃破して飛行場その他の要地を占領確保すると共に更に結果を擴張。陸軍軍は本作戦に密接に協力すると共に、十五日午前、同地飛行場に進入してシンガポール方面機隊はシンガポール島を包圍せる敵艦隊ならびに輸送艦隊を同島南方海面及びパンカ海峽附近に捕獲攻撃、二月十日より本日本までの間に合計三十二隻を撃沈破壊または擱坐せしむ、その結果（主として大破）一、特設巡洋艦一、潜水艦一、砲艦二、敷設艦一、特務艦一、三万トン級輸送艦一、八千トン級輸送艦一、五千トン級輸送艦四、三万トン級輸送艦二、(二)撃破、蘭國巡洋艦一、輸送艦一、特務艦二、輸送艦一、魚雷艇一、(三)擱坐、輸送艦一、輸送艦一

十日 ●蘭印ボルネオ方面陸軍はマナーゲロゴト上陸後陸路四百キロの要路を踏破し正午、南岸の要衝ハンジェルマシを完全占領。午後一時、ビルマ方面陸軍はサルウィン河右岸の要衝マルタパンを完全占領。

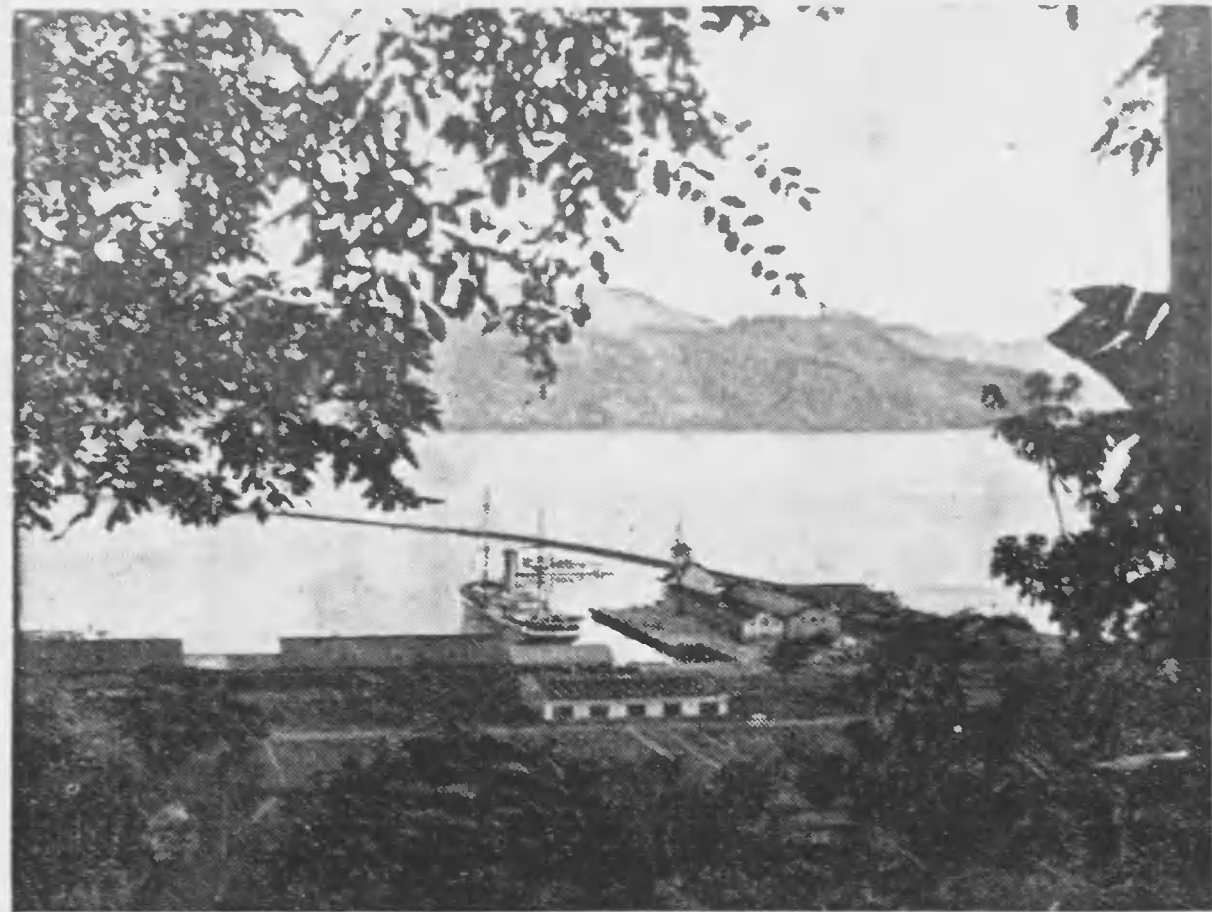
十五日 ●午後七時、敵マレー軍總司令官バリーシバ中将はシンガポールの戦線第一線ブキテマ高地のフォード會社跡にて會見、わが最高指揮官に無條件降伏を申し出、こゝに敵が新攻不落を豪語せる堅固シンガポールは皇軍の猛攻僅か七日にして攻陥成り、今や帝國はこれを東亞再建の一大據點とする礎石不動の礎を築くこととなる。去る一月十一日海軍落下傘部隊はセレベス島メナド攻陥戦に参加し、赫赫たる戦果を収めたりと發表さる。

十七日 ●シンガポール島(港)は、今、(即南島)港を呼稱すること定めらる。



▷ スマトラ東海岸のトムプン河口に堆積された黒いゴムの山

◁ スマトラの東部パレンバン地方。南部スマトラの陸上交通の中核となる驛馬場



◁ メダン市のエンマハーフエーン港は同島唯一の石炭積出港で名高い



新戦場 典辭
ラトマス



▷ メダン市の中心街、メダン郵便局前通り

わが軍のシンガポール占領は、ジャバ、スマトラ両島が受けた爆撃より以上の衝撃を蘭印全般に與へた。といふわけは蘭印の経済的運命が全般的にシンガポールにかけられてゐたからである。その上、ジャバ、スマトラはシンガポールの占領で軍事的にその死命が全く制せられた上、わが軍の劃期的な落下傘部隊によるパレンバン、メナドの攻略といふ難業によつて蘭印全島は軍事的に、経済的にたゞ徒らに立ちすくみの體である。さきにボルネオのトラカシン失陥以後米英軍最大の石油供給源スマトラ島のパレンバン油田地方はいままた皇軍の手に歸した。蘭印全島のうち石油産出高の第一位を保ち、パレンバン油田地

帯及びチャンピー油田地帯などを保持つスマトラ島の正體を窺つてみよう

× ×

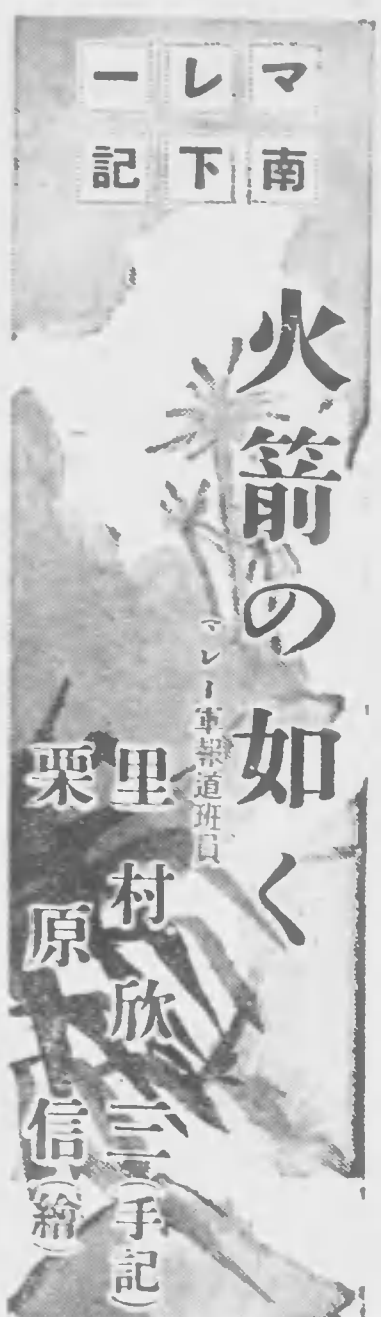
明日の蘭印を背負つて立つものはジャバでなくボルネオでもなく一に雨の多いスマトラ島であるといはれる。スマトラは面積四十七万平方キロ(朝鮮の二倍よりやや大きい)もある大きな島であるが、人口は僅かに八百万、その密度はわが國內地の十分の一ほど

明日の蘭印を背負つて立つものはジャバでなくボルネオでもなく一に雨の多いスマトラ島であるといはれるだけに、幾多の資源に富んではゐるが、今なほ未開發のまゝ残されてゐる

蘭印の資源といへば石油、ゴムとまづ指を屈するが、その何れもこの産出においてスマトラ島は蘭印第一位を確保してゐる。蘭印の油田として知られてゐるものはスマトラ油田、ジャバ油田、ボルネオ油田、セラム油田、ニューギニア油田であるが、この中でスマトラ

油田がその産出量において最大のものであつて、蘭印が占める世界石油産額の二八パーセントの六十七パーセントの産額を有してゐる。このスマトラ油田も南部、中部、北部の三油田に分れ、南部油田はパレンバン、中部油田はチャンピー州、北部油田はアチエ州を中心としてゐる。なんといつてもパレンバンは東亞最大の米英石油供給源といはれるだけであつてスマトラ石油の六十パーセント三百七十七万トンの産出量がある。なほこの他スマトラの島内所産の油田があるが、オランダ政府は各國が持つた開發權の獲得運動を封じて自國の利益を占むをはかつてきた。現在この島の開發權はオランダ、イギリス系資本會社と蘭印政府系及び米國系會社の三つに限られて

わが蘭印制壓によつてアメリカが第一に悲鳴をあげるであらうことはゴム資源を南方から輸入できなくなつたことである。このゴムの栽培こそ本島の主要産業で、石油の産出とともに世界的に名聲が高い。ゴムの産額は蘭印總産額三十万トンの約四十五パーセントを占め、いまや英領マレーを凌がん勢ひであつて、各國の投資によるゴム栽培は盛んであるが、邦人のゴム栽培に従事するものもかなり多い。中でもボルネオゴム園、スマトラゴム拓殖、南洋ゴム園等の諸會社は大いに活躍してゐた。またゴムや煙草の栽培に次いで油椰子の栽培が相當に有望視されてゐる。油椰子の油は人造バターの製造原料として適當なものであり、油脂としての獨特な地位を持つてゐる。ゴム栽培と同様にこの方面にも邦人の活躍が目立つてゐる。なほこのほかに錫産物として錫、石炭、ボーキサイト等の重要産物もある



マ 南
レ 下
一 記

ムアール殲滅戦

一月十一日以来、自轉車編成で
タプロードを進軍した。○追撃隊
は、一日平均約百キロの進軍速度
で、リンキル、サラ、ヤパン、シ
リアル、アロルガラ、ジャン、タ
ンガク等の西海岸都市を襲撃し、
席巻して、マアールの陣地に據る
強力な敵約六百と遭遇したのが一
月十五日の真夜中であつた。マア
ールは、○部隊が攻
撃しつゝあるマアール中央部のゲマ
スの陣地と繋がる強固な敵の抵抗
線である。敵の主力はゲマスにあ
り、マアールは、ムアールの線には
最後秀の機械化装備を誇る約三千
の兵力を配備してゐたのだ。○
追撃隊の先鋒山本隊がマアールの敵
と正面からぶつかり、これを一枚
みに突破して一擧にムアール河畔
へ進出したのが、十五日の日没時
であつた。

ムアール河は幅約三百メー
ル、河畔にはニッパ椰子が鬱蒼と
繁茂したジャングルの湿地帯であ
る。暗濤たる水流には鰐が浮か
び、密林から聞える怪鳥の聲が
やかましい。月のない真暗闇であ
つた。

大楠部隊は道路側面の湿地と
ジャングルの地帯へ潜伏してゐるの
だが、朝の九時から夜の九時頃ま
で、ひつきりなしに反撃してくる
敵を交へて苦戦の限りを尽くした
のだ。退路を遮断された主力を脱
出せしめるために、敵砲は大楠部
隊の頭上へひつきりなしに榴弾の
雨を降らせ、砲門は大楠隊が木々
微塵に吹っ飛ばす物凄さで、巨弾を
浴びせるのだ。その砲弾と爆撃の
ために、夜のジャングル内も、眞
夜中のやうに明るかつたといふ。

この激戦中に、ついに大楠正
一部隊長は、砲弾を真向に受けて
壯烈なる戦死を遂げ、部隊の指
揮は、瀧尾中尉が執るに至つたの
である。部隊長の壯烈なる戦死
の光景を目のあたりに直視した
部下は、ついに砲弾と爆撃に黙し
てゐられなくなつた。噴火さながら
に榴弾が炸裂するジャングル内
で、この時突如噴煙たる君が代の
吹奏が聞え出したのである。いは
ずと知れる大楠部隊が退却を断
る決死の突撃である。喇叭手の君
が代の吹奏と、天皇陛下萬歳の絶
唱！

急追ハリットスロンへ

ムアールの敵を完全殲滅し、
○追撃隊は、直ちに攻撃前進
を開始し、バクリの七つの丘に據
る敵二千の攻撃にかゝつた。○
部隊の先鋒伊藤部隊が、バクリ
の敵と遭遇したのは十八日の真
夜中であつた。突撃と敵砲撃による集
中砲火を浴びつゝムアール河口を
渡河した五反田戦車隊は、バクリ
の敵に對して側面攻撃の位置をと
つて前進する。この日、○追撃隊
は、山本部隊に喰ひな難路を迂回
させてヨシベンからの敵の有力な
増援部隊を遮断せしむべく、ヘンド
ロック峠の敵を奇襲させ、十九日
の夜襲、夜襲を反撃しつゝ三日間、
ヘンドロック峠を死守してゐたの
だ。この三日間に亘つてヨシベン
方面から増援される敵の大隊隊を
遮断してゐる間に、ハリットスロ
ンの大敵隊が準備されてゐた
のだ。即ち二十日には、○追撃隊の先
鋒がなり、正面ヨシベ林の両側を見
島部隊が攻撃前進し、戦車と野砲
が道路上一列に前進しつゝ道路
上、左右の陣地を交互に砲撃した
のだ。この時、○部隊の吉川部隊
が、敵の背後を遮断してゐて、ち
やうどバクリの場合と同じ形で、
敵兵力一千が完全に包圍され、二
十日、二十一日、二十二日と連続
砲撃を浴びて、完全に殲滅されて
しまつた。敵の退路を遮断した吉
川部隊が、追いつくハリットスロン

突如聞える君が代吹奏

この激戦中に、ついに大楠正
一部隊長は、砲弾を真向に受けて
壯烈なる戦死を遂げ、部隊の指
揮は、瀧尾中尉が執るに至つたの
である。部隊長の壯烈なる戦死
の光景を目のあたりに直視した
部下は、ついに砲弾と爆撃に黙し
てゐられなくなつた。噴火さながら
に榴弾が炸裂するジャングル内
で、この時突如噴煙たる君が代の
吹奏が聞え出したのである。いは
ずと知れる大楠部隊が退却を断
る決死の突撃である。喇叭手の君
が代の吹奏と、天皇陛下萬歳の絶
唱！

バクリの丘に死闘

これを占領し、十八日夜には大楠
部隊が敵陣地の後方を迂回して、
敵の退路遮断に成功してゐたので
ある。バクリの總攻撃は、先づ十
九日午前十時戦車隊によつて火蓋
が切られたのである。勇猛五反田
大尉は、○部隊の戦車を指揮して、
陣地に敵陣地へ突入して行く。
七つの丘の第一陣地は見事に突破
したが、ゆるやかな峠を乗り越え
て第二陣地とみる瞬間、百雷一
時に落つるが如き砲撃と爆撃—
この砲撃と爆撃が約二十分間に
つて、突然、死の沈黙に歸つてし
まつたのだ。敵陣地は不気味に静
まり返り、木の葉を揺らす微風も
ない。その無意味な静寂の天地
を、白銀色の太陽が降りつけてゐ
るだけだ。この時の光景を○部
隊長は、かう語つてゐる。

（無念にも戦車隊は全滅したの
だ。あの二十分間にわたる猛烈な
砲撃が鳴りやんだ瞬間に、俺は戦
車隊の壯烈な最後を直視した。地
輪も砕けよとはかりに撃つて撃
つて撃ち捲くつてゐた敵砲火が、
突然に沈黙したのだ。その長い長



い不気味な沈黙を破つて聞えるの
は、椰子と檳榔樹の葉蔭から聞え
る響の聲だけだつた。...

第一回の戦車攻撃が頓挫したと
みるや、後続の戦車○部隊が五反田
大尉の報復を決定して第二陣へ躍
進したが、これも猛烈な砲火を浴
びて一臺は擱置し、残る○部隊は敵
弾を受けてエンジンに故障を起し
て後退を餘儀なくされ、この陣地
で都立○部隊の戦車を襲つてしま
つたのだ。

敵は強家を誇る濠洲第五師、第
五旅である。野砲、迫撃砲に配す
るに二千の濠洲兵と、戦車、裝甲
車二十臺以上をもつて友軍を遠へ
撃つのだ。正面の敵と取つ組んだ
伊藤部隊も苦戦である。後方遮断
の大楠部隊を、この方面にわが主
力ありと誤認した敵は、全力を擧
げて反撃を繰り返すこと七回。前
後を包圍された敵は、死物狂ひと
なつて抵抗するのだ。流石に濠洲
兵である。突撃、また突撃をもつ
つて突つ込むわが軍の正面に自動小
銃を小脇に抱えて立ちまはるが、
日本兵の銃剣で突き伏せられるま
で、亂射をつづける勇敢な濠洲兵
があつたといふ。正面陣地は伊藤
部隊、野砲隊、戦車隊の緊密なる
協同攻撃にさらされ、退路は大楠部
隊によつて遮断されて、こゝに全く
逃げるに術なき袋の鼠と化した敵
は退路を求めて、あらゆる火器と
戦車を動員して、進軍無二、大楠
部隊の正面へ突つかつて来るの
が、聞けばケララブルールは、疾
つくに日本軍に占領されたさうだ
が、妻と子供二人の行方が未だに
判らない、一體どうなつたのであ
らうか。...

ハトバハ攻略

これより早く一月十六日ハトバ
ハの河口へ敵前上陸した○部隊
岡部隊は、ハトバハの南方約八キ
ロの地點において敵の包圍を受け
つゝ十日間を頑張りぬいて敵を牽
制し、○部隊主力のハトバハ攻
略を容易ならしめた功績もまた、
特筆すべきであらう。即ち二十日
から二十四日までヨシベンの増援
軍をヘンドロック峠において牽制
してゐた山本部隊は、この任務を
解されるや敵竹の勢を濁流の濁流
を渡して一路ヨシベンハトバハ
へ街まで南下してハトバハの側背
に迫り、大楠部隊と頭角を擡げた
のが二十五日であつた。ハトバハ
の正面は○追撃隊がひた押しに
攻撃を加へつゝ、渡河橋を確保し
た。敵の砲撃が現はれて、○本
隊の渡河橋を砲撃し、砲撃を加
へたのは、この時である。マラッ
カ海峡は、すでにわが海軍の制壓
下にあつたが、この近海は遠浅の
ため、潜水艦の攻撃の自由を缺い
たことは、残念であつた。砲撃は

陣中新聞

速かに業を励め

軍司令官告示を發す
比島人中にはまだ何もの...

比島人諸君ニ告グ
比律賓人ノ新比律賓建設ハ...

マレー進撃
マレーは常に南に向けた...

彼我の距離
ニアラス島ヲ安ンジテ連ガ...

南海の夜明
向井潤吉
船は征く征く南は招く...

馬イカガシ
工兵隊士セガマ架橋作事
共ニ手を取り歩けば肩に...



セングラン戦

夜にハル...

バトバハの占領と同時に...

部隊本部襲はる
しかしながら、前後を包圍され...

大トカゲの餌食
マチイ以来の包圍戦約十日...

三月の常会

一 戦勝感謝に郵便貯金
國民が待ちに待ったシ...

二 堆肥生産倍加運動
農作物の増産は絶対に必要...

三 芝麻の栽培献納
芝麻は航空機用潤滑油の...

四 貧民救済の徹底
四月三十日には衆議院議...

日下全国各市町村で...

供用強化運動を展開中...

集荷が中心となつて...

肥田土の増産を期して...

この戦況は、戦車の...

この戦況は、戦車の...

この戦況は、戦車の...

この戦況は、戦車の...

勝利の法律

第三号

戦時

民事特別法

裁判沙汰は愚の骨頂
お互ひのため圓滿に

裁判はたとへば外科手術のやうなものであり、これに對して調停は保健衛生のやうなものであるといへませう。こんどの戦時民事特別法では戦時下に相應しくなるべくこの外科手術をやめて保健衛生に力を注ぐ建前から金銭債務の調停制度を廣範圍に擴張しました。私どもの間でよく起きる、貸した金を返せ、返せぬといふやうな争ひは結局訴訟によつて解決するのが普通ですが、よく考へてみると訴訟をするには相當の時間と費用がかかるので、お互ひが意地付くになつたため數十圓の金額の訴訟に幾年もの月日と家産を傾ける費用をつかひ、しかも訴訟には勝つたが相手が無資力になつたため金は一文も取れなかつたといふやうな話もよくあることと全くつきまらぬ話です。しかも世の中には返す意志は十分にありながらにつつも、つつも動きのない債権者が澤山にゐることでせう。そこで金銭債務の調停制度はかうした誠實な債権者を保護す



出る所へ出て見つとも良くない
願まさらけ合ふ人達

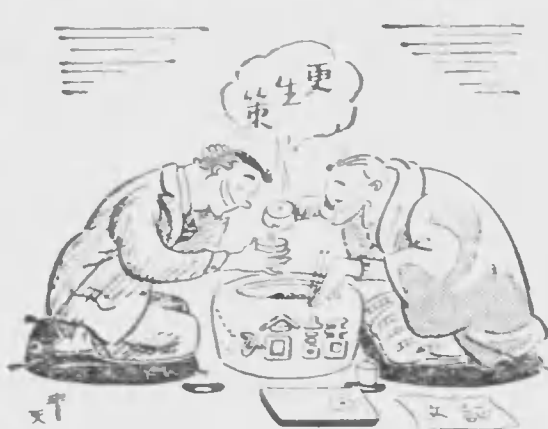
認められてをり、その結果圓滿に解決した例も尠くありません

る律からその借金を整理して経済的に更生させるために貸付けられたものといへませう。けれども調停して債権者を更生させることは決して債権者に損をさせる結果とはなりません。債権者がもし一生たつても経済的に苦にならなかつたとしても、債権者の持つてゐる金をとり立てる権利といふものは法律にも等しいものとして終るより外ないからでせう。結局は債権者を助けて借金を返せる途をつくつてやるのが同時に債権者をも保護することになるわけではせう。この證據には債権者からの調停申出も

この金銭債務の調停は、いままで農業者とか中小工業者を目あてにしてゐたので大體貸借の金額は千圓を超えないものとして千圓以下の貸借に限るものと定められてゐましたが、戦下の影響が前記の何であるかを問はずだんだん進んでいく生活の上にもおはされていくにつれて金銭上の争ひもやうやく多くなつてくる傾きがみられますので、こんどはさらにその金額の範圍を擴張して二千圓でも五千圓でも金額の多い貸借に拘らずお互ひが反省して譲り合ひ、協議して争ひをやめようとする限りは裁判所でも喜んで調停に乗り出すことになりました。

争ひは信用を失ふも 商人同志も話し合ひて

もともと商人といふものは信用を基礎にして取引を行つてゐる者でありませうから、これが一旦相相手方によつて裁判を起されると、世間一般の信用は先づ失はれるものと思はねばなりません。商事の調停には商事に通じた實際家も加はつてお互ひの話し合ひにより手帳に早うしかも秘密の裡に圓滿な解決を成すものでありませう。商人にとつては大變に有利な制度であるといはなければなりません。しかも商人は打算的で商事上の争ひに感情を混じへるやうなことも割に少ないので調停が成立する率も一般の金銭債務調停に比べて多くなければならないはずでせう。



ものことは煩く聞く
おだやかに解決へ

今日ではたとへば裁判の結果、金を貸した事實が確定しても債権者が債権者から實力でそれを取り返すといふことは禁じられてをり、債権者はたゞ國家の權力によつてこれを取立てることができなくなりました。裁判所は債権者の申立てによつて債務者のもつてゐる不動産を拍賣したり、或はは不動産の差押へをしたりしてその賣得金を債権者に交付することになりませうが、これらの強制執行はこれまで裁判官が法律で定められた劃一的な尺度で測れぬ事情もある、裁判官の才量で

この調停もこれまで東京、大阪、京都、神奈川、愛知及び兵庫の三府三縣だけに限つて施行されてゐたのをこんどは全國的に擴大することになりました。

的ない、度々つてよめていはいは機械的な判斷を下してゐたものでした。しかしかうした戦時下では國民の生活もいよいよ複雑化してきますので一律に法の尺度で測るといふことは困難です。こんどの戦時民事特別法ではこの點を改め、債権者の事柄が尋常に氣の毒のやうな場合には、裁判所で債権者の事情も考へた上、債権者にとつてさほど不利でないことが認められれば、その執行を延ばさせたり破産の宣告を保留することができませう。新制による轉業とか失業等のため、いさゝか借金の返済がでない者に機械的な援助を與へることになりました。

貴重な時間を、費すな い、裁判手續は簡略に

訴訟に「公事三年」といふことがありますが、これは裁判が非常に回数を要することを諷刺したもので、その手續の煩はしいことを意味してゐるものともみられませう。こんどの戦時民事特別法はこの點についても大いに考慮を拂ひ、裁判の際の證人呼出しの手續をも大變に略式にして、いままではかまひしい呼出狀によつて呼出してゐたのを電話やハガキでもそれができるやうにしたほか、重要な職場にある人に對しては裁判所に出席する代りに書面を提出させてこれを證據として採り上げることにし、民事裁判の簡易化をはかつてゐませう。

大御威の威稜に 港陥落の喜びに沸く帝都



シンガポール陥落の報に涙にもまして胸躍らせたシンガポール方面からの引揚邦人馬來協會の人々は、まづ宮城二重橋前にゆき、大御威の威稜に感泣したのであつた

この輝かしい戦果にこたへて國債を買ひませうと熱呼ぶあかる帝都市中に移動郵便車が出勤 第一回大東亞戦争國債、特設戦時貯蓄債券及びシンガポール陥落記念切手等の販賣に活躍した



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 一 日 満洲國建国十周年記念日 郵便局で慶祝記念切手賣捌き開始
- 六 三 日 地久節 皇后陛下には御三十九回日の御誕生を迎へさせられる
- 十八 日 大詔奉戴日 第二十七回陸軍記念日 陸軍省に於て大詔奉戴の式を執り行はれる
- 二十 日 陸軍省に於て大詔奉戴の式を執り行はれる
- 二十 七日 九年前帝國 國際聯盟を脱退した約四千六百の遺兒外國に参拜
- 三十 日 中華民國政府成立して二

時に時共榮國內に

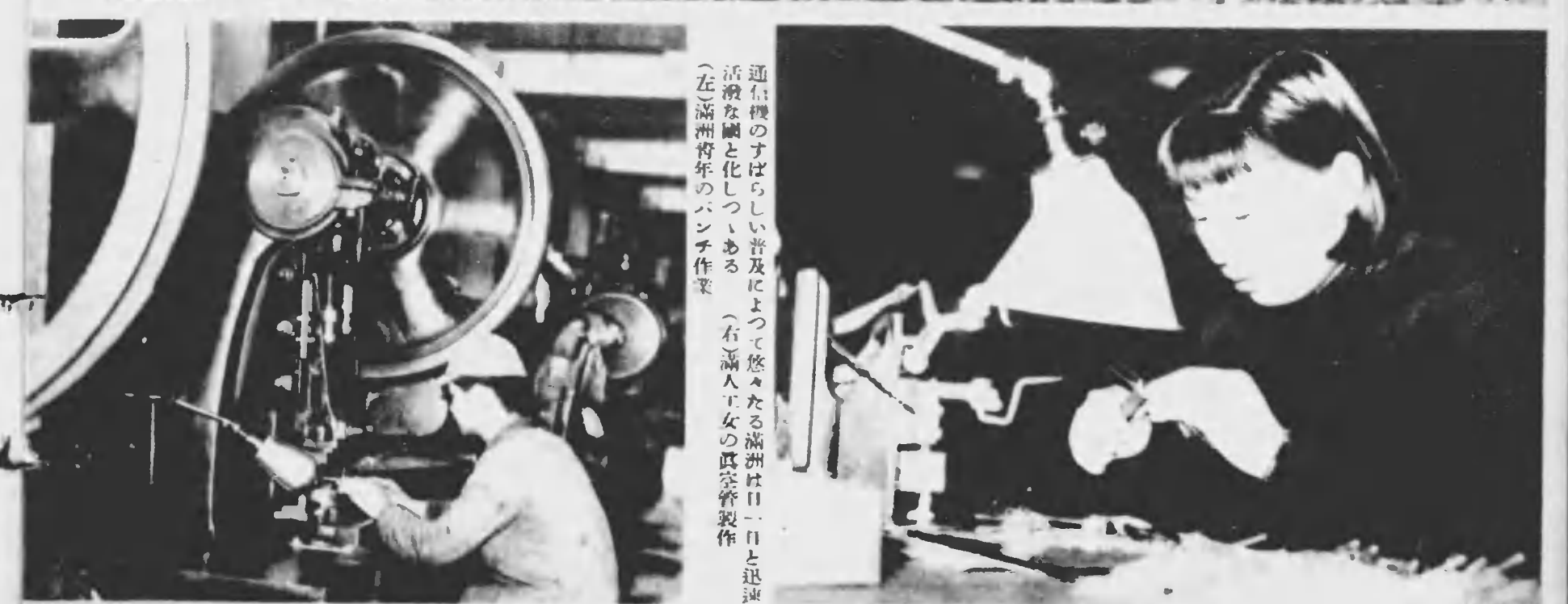
満洲國は十歳の誕生日



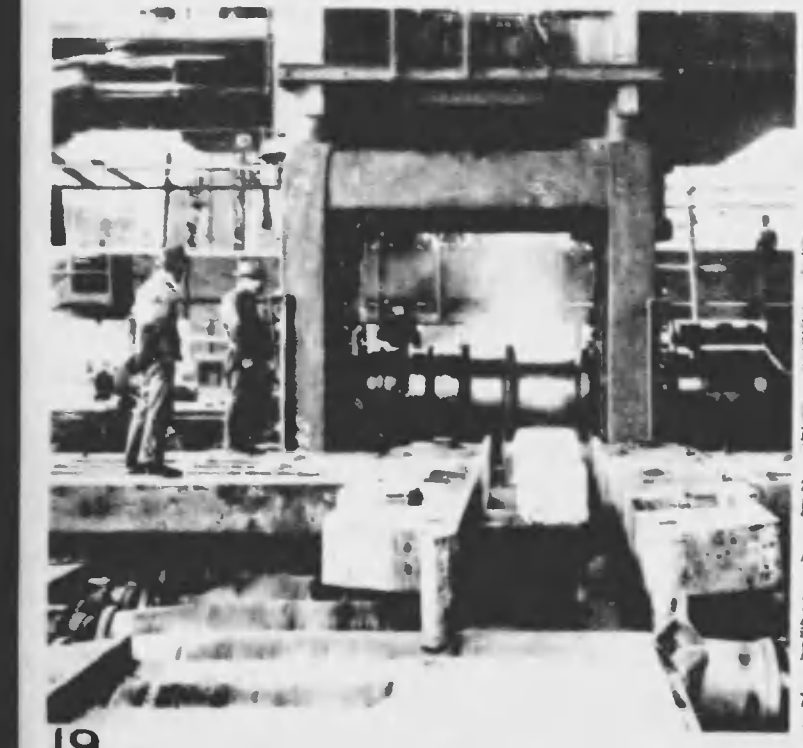
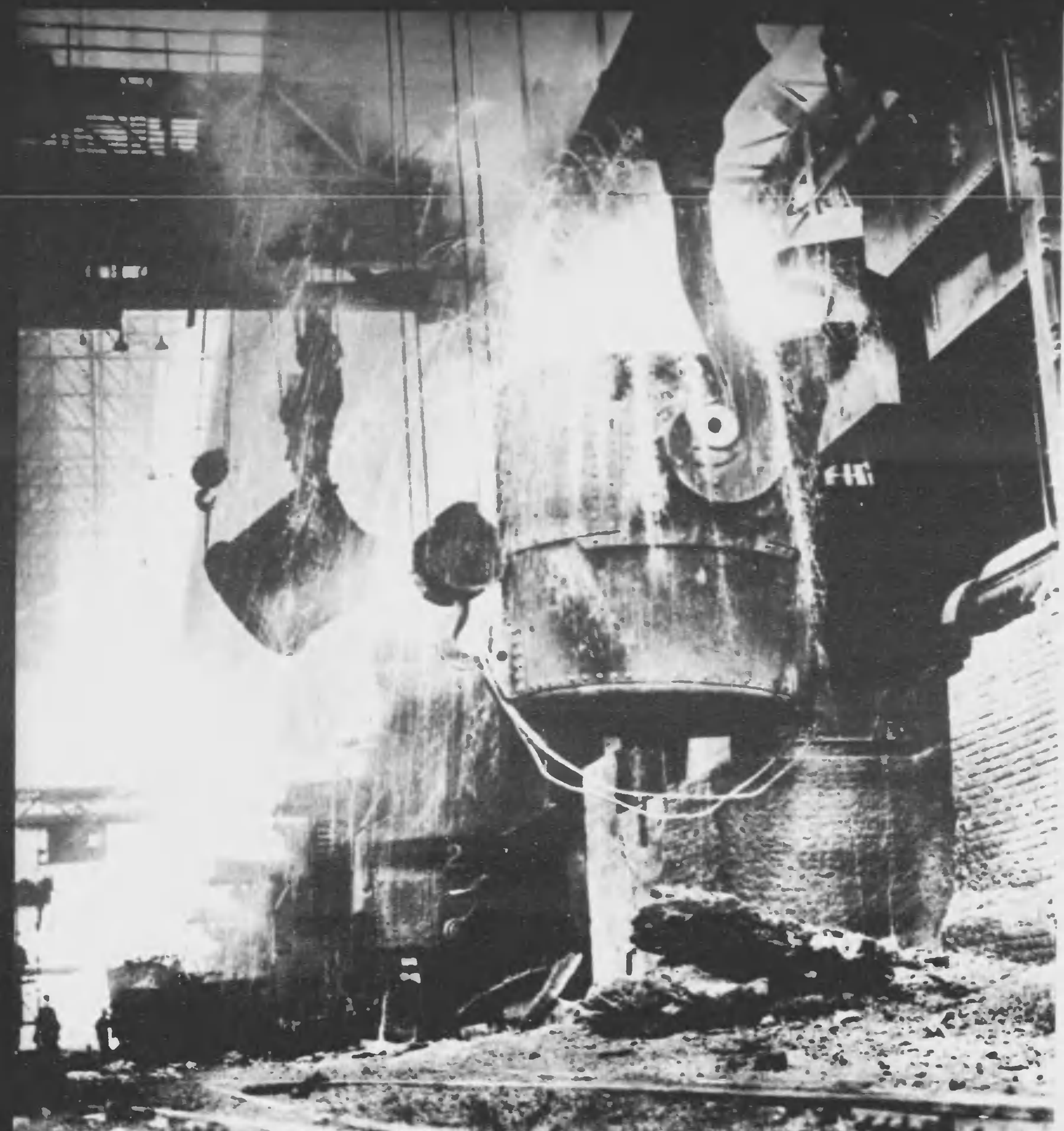
本邦産物に類、最も共に第二期建設(開發)五年計並において、最重要部門とされた。これは種家(錦州省)における採炭爆発

満洲重工業界の花形、昭和製鋼所。灼熱の熔鐵は平爐で処理され、火花を散らして鋼に流れる

撮影 南滿洲鐵道株式会社、満洲重工業開發株式会社



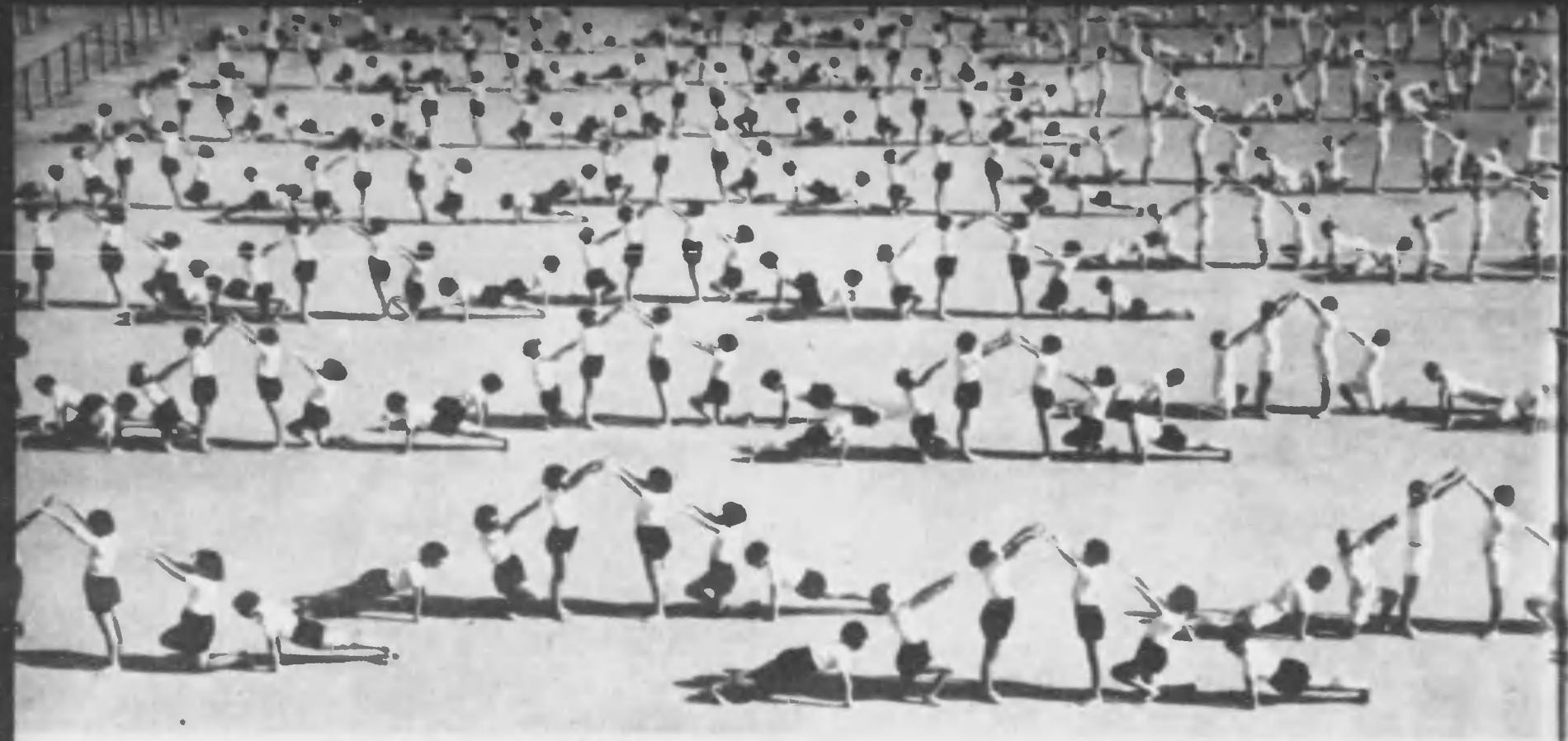
通信機のはらばらしい普及によつて悠々たる満洲は日一日と迅速活潑な國と化しつつある (右) 満洲女子の職業製作 (左) 満洲青年のパンチ作業



鋼塊は駆延機で駆延され段々小さな鋼片となる

三月一日、友邦満洲國は大東亞諸民族の羨望のうちに輝かしい建國十周年を迎へる。回鑒訓民詔書の中に、日滿兩國の關係について「友邦と一徳一心」といふ御言葉が示されてゐるが、この御言葉の通り過去十年、四國の情勢は色々移り變つたが、日滿兩國の情愛は年とともにこまやかに加へるはかりであつた。かうして、満洲國は誕生以來併か十歳といふ弱齡にも似ず、今では世界に押しも押されぬ立派な國家として成長した。實際、政治、經濟、文化その他の面を見ても、満洲國の姿は、その傳統的王道精神の中にも、潑刺たる近代性をまん／＼とた／＼とて間然する所がない。そして今あらゆる面で第一期の建國基礎工作時代を経て第二期の建設へとわきめもふらずに幕進し始めたのである。

いふまでもなく、満洲は日支と共に大東亞共榮圈の基軸となる國である。約四千三百萬人の満洲國人はこのことを誇りとし、われ／＼と同じ氣持で、われ／＼の隣になり日向になつて、或ひは北邊の固めに、或ひは物資の生産に、日夜分たす涙ぐましい努力を續けてゐる。建國十周年の意義深い今日、われ／＼は特にこのことを銘記し、心からこの國の人々の努力を讃へ、また感謝しよう。と同時に、われわれもまた絶えざる友情をこの國に示して、行末長き發展を祈らう。

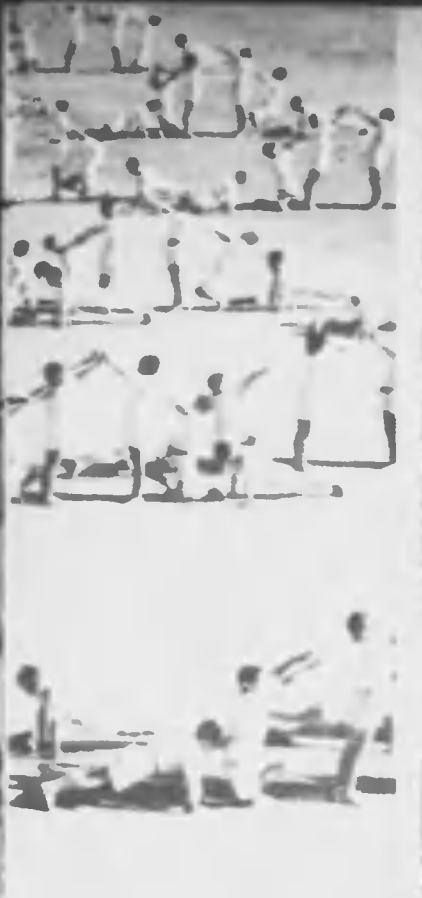


すなり二列に並んだ低機
伸にオカッパ、ボウズ頭
合せて百四十が、二本の
胸に身體の全重量を支へ
ピンとそる

全筋肉を緊張させる富田体操 全校生徒
は披露せましと風舞する



敵へた身體は姿勢が不健康にくづれない
教場でも身體を起してと注意などしなく
とも自ら直角に正しくなる



さあ 次の時代も大丈夫

徳島縣富田國民學校兒童

健康の基礎となるリズムカスな正常行進
呼子一つを合図に、花模様を描き、いろ
いろな圖案を描く。楽しみうちに身體
の均整がとれてゆく



撮影 吉田 幸

校庭ばかりでなく野外に出て自然に親し
みながら體力を練らう。樹木を利用した
遊童に強い臂力は鍛へられる

写真週報 昭和十七年三月十一日 第三編 戦時特設新聞 昭和十七年三月廿五日発行 毎週一回水曜日発行 第百十巻



行銀海東 屋古名・店本

内閣印刷局印刷發行

(列強戦艦)-A4 複製定額はさき大の書本)